



小学1・2年生におすすめの本

姫路市立城内図書館

ひとりでよんでも、よんでもらっても おもしろいほんを しょうかいします。としょかんに かりにきてね！


(保護者の方へ 1・2年生は、まだ読んでもらうほうがより楽しめる年代です。字数の多い本には  マークをつけていますので、できれば読み聞かせてあげてください。)

あたまをつかった小さなおばあさん

ホープ・ニューウェル作 福音館書店 GYーニ 

むかし、ひとりのおばあさんがいました。ふゆになるまえに、あたたかいはねぶとんをつくろうと、がちょうをかいはじめますが、はねをむしると、がちょうがさむくなります。おばあさんは、あたまをつかうことにしました。

いやいやえん

中川李枝子作 福音館書店 Yーナ 

しげるは4つ。ちゅーりつぷほいくえんのばらぐみです。ほしぐみは、らいねんがっこうへいくみです。ある日、ほしぐみのおとこの子たちは、つみきでりっぱなふねをつくりました。くじらとりにいくのです。しげるは「つれていってよう」とたのみます。

ウィリアムのこねこ

マージョリー・フラック文・絵 新風舎 Eーフ


ウィリアムがあそんでいると、まいごのこねこが見ついてきました。ウィリアムはこねこをかいたくになりました。かぞくとそうだんして、けいさつしょへいってみると、まいごのこねこのとどけは3つも出ていました。こねこは、3かいもかいぬしからにげだしていたのです。

海べのあさ

ロバート・マックロスキー文・絵 岩波書店 Eーマ

おとうさんとバックス・ハーバーへいく日、サリーは、はが1ぼんぐらぐらしているのにきがついてびっくりしました。大きな子になったしるしだとおしえてもらったサリーは、はがぬけるのをたのしみにします。

エルマーのぼうけん

R・S・ガネット作 福音館書店 GYーガ 


エルマーはとしとつたのらねこから、どうぶつじまにとらわれている、りゅうの子どものはなしをききます。しまにでかけたエルマーは、きけんなもうじゅうをあいてにかつやくし、うまくりゅうをたすけだします。

きかんしゃやえもん

阿川弘之文 岡部冬彦絵 岩波書店 Eーオ


きかんしゃのやえもんは、ながいあいだはたらいてきましたが、としをとってみんなにばかにされています。ある日、やえもんはかじをおこしてしまい、もうやくにたたないといわれて、くずてつにされそうになります。そこへある男の人がやえもんをひきとりにきます。

くしゃみくしゃみ天のめぐみ

松岡享子作 福音館書店 Yーマ 

むかし、「はくしょん」とよばれるわかものがいました。いつもからかわれていましたが、ちょうじゃのむすめをくしゃみでわらわせ、げんきにし、おむこさんとしてむかえられました。ほかにも、「いびき」や「しゃっくり」、「あくび」などのゆかいなおはなしが入っています。

くまのテディ・ロビンソン

ジョーン・G・ロビンソン作 福音館書店 GYーロ 

テディ・ロビンソンは、大きくてだきごちのいい、人なつっこいぬいぐるみのくまさんです。デボラという女の子のもので、いつもいっしょにあそぶ大のなかよでした。「ひとばんそとでねる」「おまつりにいく」など7つのおはなしが入っています。

グレイ・ラビットのおはなし 絵本

アリソン・アトリー作 岩波書店 Eーテ

はいいろウサギのグレイ・ラビットは、のうさぎのヘアと、りすのスキレルといっしょにすんでいます。あるとき、グレイ・ラビットは、ニンジンをつくるほうほうを、フクロウにたずねます。フクロウはグレイ・ラビットの白いしっぽとひきかえに、「タネをまけ」とおしえてくれます。

こいぬがうまれるよ

ジョアンナ・コール文 ジェローム・ウェクスラー写真 福音館書店 64ーコ

おとなりのいぬにあかちゃんがうまれます。いっぴきもらえることになっている女の子は、たのしみでたまりません。こいぬがうまれて、めがあいて、みみがあいて、すこしずつそだっていくようすがわかるしゃしんのほんです。

ごきげんならいおん

ルイズ・ファティオ文 ロジャー・デュボアザン絵 福音館書店 Eーデ


フランスのどうぶつえんに、いつもごきげんなライオンがいました。あるあさ、ごきげんなライオンは、しいくがかりがおりをしめわすれたことに気づき、町の人たちにあいにいくことにしました。ところが、ライオンがあいさつすると、みんなさけびごえをあげて、にげていってしまいます。

こぎつねキッコ

松野正子文 梶山俊夫絵 童心社 Eーカ

こぎつねキッコは、ようちえんのうら山にすんでいます。キッコはようちえんをのぞくのが大すきです。なつやすみがはじまると、キッコはだれもないようちえんで、おもろぞんぶんあそびます。

こぎつねルーファスのぼうけん

アリソン・アトリー作 岩波書店 GYーア 

森にすむ、ひとりぼっちの子ぎつねが、アナグマのかぞくにひきとられ、ルーファスと名づけられました。ルーファスは、アナグマの子どもたちと、まいにちたのしくらしていました。ところが、あるよる、わるいきつねのおじさんにつかまり、はこのなかにとじこめられてしまいます。


こぐまのくまくん

E・H・ミナリック文 モーリス・センダック絵 福音館書店 GYーミ

こぐまのくまくんが「さむいからなにかきるものがほしい」といったので、おかあさんはぼうしをこしらえてくれました。けれどもくまくんは、すぐもどってきて「なにかきるものがほしい」といいます。

くまくんとおかあさんの4つのおはなし。

すえっこOちゃん

エディス＝ウンネルスタッド作 フェリシモ GYーウ 

5さいの女の子O(オー)ちゃんは、7人きょうだいのすえっこです。うばぐるまにねこをむりやりのせてさんぽにいたり、にいさんのかみのけで小さいおさげをつぎつぎにつくって、ハリネズミのようにしてしまったりします。げんきなOちゃんとかぞくのおはなしが、9つ入っています。

ぞうのパバール

ジャン・ド・ブリュノフ作 評論社 Eーブ

もりのくににすんでいるぞうのパバールは、かりゅうどからにげて、まちへやってきました。パバールは、大がねもちのおばあさんにであって、さいふをもらい、デパートへかいものにてかけます。

たんたのたんけん

中川李枝子作 学研 Yーナ

たんじょう日のあさ、たんたのところへ白いふうとうがとどきました。中には、たんけんのちずが1まい入っています。たんたは、さっそくたんけんにしゅつぱつします。するとそこへ、ひょうの子があらわれて、なかまになります。

ちいさいおうち

バージニア・リー・バートン文・絵 岩波書店 Eーバ

しずかないなかのおかの上に、ちいさいおうちがたっていました。まわりのけしきをじっとながめながら、おうちはしあわせにすごしていました。やがて、ひろいどうろができ、たくさんのものがたち、ちいさいおうちにすむ人もいなくなります。

小さなきかんしゃ

グレアム・グリーン文 エドワード・アーディゾーニ絵 文化出版局 Eーア

小さなきかんしゃは、まいにちおなじせんろをいったりきたりしています。あるあさ、ちびきかんしゃは、えきからにげだし、ぼうけんにでかけます。のはらをすぎ、川をわたり、おかをこえて、ちびはとくいではしります。

ちびっこタグボート

ハーディー・グラマトキー作 学研 GYーグ

小さなタグボートのトゥートゥは、はたらくのが大きらい。いつもいたずらをしてはおこられて、みんなにばかにされていました。ところがある日、あらしの中でうごけなくなっているきせんを見つけ、たすけようとがんばります。

チム・ラビットのぼうけん

アリソン・アトリー作 童心社 GYーア



小さいうさぎのチム・ラビットは、くさかりばで、はさみをみつけました。チムははさみをもってかえって、なんでもきりはじめました。もうふも、カーテンも、じぶんのからだのけも……。チム・ラビットのおはなしが9つ入っています。

チャールズのおはなし

ルース・エインズワース作 福音館書店 GYーエ

チャールズは4さいの男の子です。なんでもあつめるのがすきで、おばあちゃんがつくってくれた“なんでもぶくろ”がおきにいり。まいにちいろいろなあそびをおもいつき、たのしくすごしています。

なぞなぞのすきな女の子

松岡享子作 学研 Yーマ

あるところに、とてもなぞなぞのすきな女の子がいました。ある日、森でオオカミにであいましたが、オオカミは、女の子が出したかんたんななぞなぞにこたえられません。オオカミがかんがえこんでいるうちに、女の子はこっそりいえにかえってしまいます。

ねずみのとうさんアナトール

イブ・タイタス文 ポール・ガルドン絵 童話館出版 Eーガ

フランスにすむねずみのアナトールは、あるよる、にんげんがねずみのわる口をいうのをきいて、かなしくなりました。アナトールは、ほこりをとりもどそうと、よなかにチーズこうじょうにもぐりにみ、チーズのあじみをして、チーズのつくりかたについてアドバイスをのこします。

ねむりひめ

グリム童話 フェリクス・ホフマン絵 福音館書店 Eーホ

ずっと子どもがほしかった王さまとおきさきに、かわいい女の子が生まれ、おいわいのえんかいがひらかれます。ひとりだけよばれなかったうらない女ののろいで、ひめが15になったある日、おしる中のものが100年のねむりについてしまいます。

はなのすきなうし

マンロー・リーフ文 ロバート・ローソン絵 岩波書店 Eーロ

むかし、スペインにフェルジナンドといううしがいました。フェルジナンドはこかげにすわって、しずかに花のにおいをかぐのがすきでした。ある日、フェルジナンドがくまんばちにおしりをさされ、大あばれしていると、とうぎゅうにつかうしをさがしにきた男たちに、つれていかれてしまいます。

ピーターラビットのおはなし

ビアトリクス・ポター作・絵 福音館書店 Eーポ

ピーターは、いたずらっこのこうさぎです。あるあさ、ピーターのおかあさんは「マグレガーさんのはたけにだけは、いっちゃいけませんよ」といつてでかけました。ピーターは、おかあさんのいうことをきかずに、はたけにもぐりこみ、レタスやさやいんげんをたべはじめます。

プーのはちみつとり

A. A. ミルン作 岩波書店 GYーミ

くまのプーは、大きなカシの木の上にハチのすをみつけます。ミツをとろうと、木にのぼりますが、うまくのぼれず、おちてしまいます。うまくハチミツをとるために、プーはいいほうほうをおもいつきます。

ふしぎなたいこ

石井桃子文 清水崑絵 岩波書店 Eーシ

むかしあるところに、げんごろうさんという人がいて、人のほなをたかくしたり、ひくしたりできるふしぎなたいこをもっていました。ある日、げんごろうさんは、どのくらいはながのびるかためしてみたくなり、たいこをたたいて、じぶんのはなをどんどのぼしていきました。

ブレーメンのおんがくたい

グリム童話 ハンス・フィッシャー絵 福音館書店 Eーフ

としをとってはたらけなくなった、ろば・いぬ・ねこ・おんどりは、まちのおんがくたいにやとってもらうため、ブレーメンのまぢめざしてでかけました。とちゅうでどろぼうのいえをみつけた4にんは、ごちそうにありつくため、ちえをしぼってどろぼうをおどろかせます。

べんけいとおとみさん

石井桃子作 福音館書店 Yーイ



あるいえに、ねこのおとみさんと、かずちゃんという男の子、いもうとのまりちゃん、犬のべんけいがありました。みんなは、まめまきをしたり、お月見のしたくをしたり、クリスマスプレゼントをおくりあったりします。

ほしになったりゅうのきば

君島久子再話 赤羽末吉絵 福音館書店 Eーア


むかし、2ひきのりゅうがけんかをし、天に大きなさけめをつくってしまいました。そのさけめの下の村には、雨やひょうがふりそそぎ、人びとは、ほらあなからそとに出ることができません。村のわかものサンは、このさけめをつくろうため、天のつくろいができるというクマ王のむすめたちのところにやってきます。

まいごになったおにんぎょう

A. アーディゾーニ文 E. アーディゾーニ絵 岩波書店 GYーア


あるおんなの子が、スーパーのれいとうこでちいさなおにんぎょうを見つけました。おにんぎょうは、アイスクリームをたべていましたが、さむそう
でさびしそうにみえました。おんなの子は、いえにかえると、ちいさなぼうしやオーバーをつくり、つぎの日、スーパーにもっていきます。

ミリー・モリー・マンデーのおはなし

ジョイス・L・ブリスリー作 福音館書店 GYーブ 

ミリー・モリー・マンデーは小さな女の子。おとうさん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃん、おじさん、おばさんとくらしています。「ミリー・モ
リー・マンデー おつかいにいく」「おくりものをもらう」「おみせばんをする」など12のおはなしが入っています。

ももいろのきりん

中川李枝子作 福音館書店 Yーナ 


るるこは、おかあさんからもらった、ももいろのかみで、大きなキリンをつくりました。るるこがキリンに目をかくと、ももいろのキリンは、にんげんみた
いに口をきき、るるこをのせて、クレヨンの木のはえている山へ、かぜのようにかけだしました。

もりのこびとたち

エルサ・ベスコフ文・絵 福音館書店 Eーベ


ふかいふかいもりのおくに、こびとのかぞくがくらしています。げんきなこどもが4にんいて、きのこそつりのあかいぼうしをかぶっています。なつの
あいだは、こりすやかえるとあそんでいますが、あきになると、いそがしいごとがはじまります。

もりのへなそうる

渡辺茂男作 福音館書店 Yーワ 

てつたくんとみつやくんは、もりでおおきなたまごを見つけました。つぎのひ、みにいくと、たまごはなくて、へなそうるがいました。かおはかばのよ
う、くびはながくて、せなかからしっぽにかけてとげとげがある、おおきなきものです。ふたりはへなそうるとあそびます。

やかまし村の子どもたち

リンドグレーン作 岩波書店 GYーリ 


やかまし村にはいえが3けんしかありません。子どもはぜんぶで6人。そのなかのリーサは7さいで、2人のにいさんがいます。村のくらしは、たの
しいことがたくさんあります。

りすのパナシ

リダ・フォシェ文 フェードル・ロジャンコフスキー絵 童話館出版 Eーロ

子りすのパナシは、おとうさん、おかあさん、3びきのきょうだいといっしょにふるいモミの木にすんでいます。かけっこをしたり、しっぽをふくらませ
て木のえだからとびおたりして、げんきにくらしていましたが、ある日、パナシが森のばん人のおや子につかまってしまいます。

ロッタちゃんのひっこし

リンドグレーン作 偕成社 GYーリ 

あるあさ、ロッタは、かんかんにおこって目をさました。ロッタのおきにいりのぬいぐるみを、おにいちゃんたちが、いじめているゆめを見たので
す。かんしゃくをおこしたロッタは、ママにやつあたりしたあげく、おとなりのものおきごやにひっこしてしまいます。